

二本松商工会議所
経営発達支援計画 事業評価検討会 評価表

評価基準

- A：実施され効果が見られたもの、もしくは期待できるもの。
B：実施されたが、目に見えた効果が見られないもの。
C：実施されたが、大幅に目標を下回っているもの。
D：実施されなかった。

当所経営発達支援計画の事業評価に際し、別紙『令和2年度二本松商工会議所経営発達支援計画事業報告書』をご参照の上、A・B・C・Dいずれかに○を付けて下さい。

その際、別段に設けた記入欄にご意見等ございましたら、ご記入願います。

I. 経営発達支援事業の内容

【1.地域の経済動向調査に関すること】

- 独自の経済動向調査の実施と情報の提供
○管内経済情勢の把握

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

新型コロナウイルス感染症に関する影響調査や、メガステージ二本松が開店したことに伴う交通量調査などを行ったことで、外部環境の変化が会員企業に与えている影響や、商工会議所に対する要望をタイムリーに把握することができていると思われる。一方で、インターネットでの回答は効率的ではあるが、回収率を上げることができれば、なおよかったと思われる。

【2.経営状況の分析に関すること】

- セミナー等の開催を通し支援先を抽出
○詳細な経営分析

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

新型コロナウイルスの影響により、セミナー等の開催が少なくなりましたが、その分個社支援に注力したことで、経営分析支援数が目標を大きく上回っている。今後は、会員企業のオンライン対応力の育成を図り、オンラインセミナーの開催も検討することが望ましい。

【3.事業計画策定支援に関すること】

- 事業計画策定の有効性の啓蒙
- 事業計画策定支援の推進
- 事業承継事業所への事業計画策定支援の推進
- 創業者への創業計画策定支援の推進

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

事業計画策定事業所数が目標件数を大幅に上回る 27 件という実績となっていることから、事業計画策定の有効性の啓蒙が機能している。黒字化転換事業者数は目標を 2 件下回ったものの、コロナ禍で黒字転換できた支援事例を評価したい。事業承継と創業については、地域の経済活性化に向けて重要なテーマであるため、更なる啓蒙強化を期待したい。

【4.事業計画策定後の実施支援に関すること】

- 事業計画策定事業所のフォローアップ
- 事業承継事業所へのフォローアップ
- 創業者へのフォローアップ

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

事業計画策定事業所、事業承継事業所、創業者への各フォローアップを十分に行っている。事業承継については、個別相談の参加人数は少なかったが、支援ニーズがある事業所に対して、必要なフォローアップを行っている。また、外部の支援機関や専門家と連携した支援体制を整えることで、専門的課題への対応力も有している。

【5.需要動向調査に関すること】

- 専門家（バイヤーズガイド）による個別相談会（個社の商品調査）
- 「一店逸品フェア」での消費者向けヒアリング調査（個社の商品調査）
- 外部情報を活用した商品等ニーズ調査（業界の商品調査）

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

専門家による個別相談会や消費者向けヒアリング調査は、販路開拓に向けた既存商品のブラッシュアップや新商品開発のヒントにつながるため、非常に有効である。個別相談会やヒアリング調査の結果を事業所へフィードバックした後の継続的な伴走支援に期待したい。

【6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

- 「ザ・ビジネスモール」を活用した販路開拓支援（地域外への販路開拓）
- 「一店逸品運動」の更なる推進
- 専門家（バイヤーズガイド）によるセミナーと個別相談会の開催
- 「小規模事業者交流会」を通じた販路開拓支援

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

新型コロナウイルスの影響で、イベントや交流会が開催できなかったのはやむを得なかったと思われる。商談成約については、時間がかかる場合も多いと思われるが、出店支援件数などの分母の数が増えていけば、長期的には成約件数の増加につながるものと思われる。そのため、今後も分母の拡大とその後のフォローについて期待したい。

II. 地域経済の活性化に資する取組

【1.二本松市中心市街地活性化協議会（中活協）の運営と各地区協議会との連携】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

二本松市の中心市街地活性化に向けた各種関係団体との連携の中心機関として、二本松商工会議所の役割は大きく、今年度も、その機能を十分に果たしている。

【2.二本松市共通商品券事業】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

今年度は12月の発行総額を従来の2倍である2,200万円に増額したことで、新型コロナウイルスの影響を受けた地域の消費喚起に貢献できたものと思われる。

年度ごとに、発行総額、参加店舗数、購入者数の目標を設定していただけると、より事業評価を実施しやすくなる。

【3.城下町魅力発信事業】

○オールにほんまつスタンプラリー事業

○さくらウォーキング事業

○ファミリーサイクリング事業

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

オールにほんまつスタンプラリー事業は、参加店が増加傾向にあり、イベント参加者の地域での消費喚起につながっている。

新型コロナウイルスの影響による、桜ウォーキング事業とファミリーサイクリング事業の中止は、やむを得なかったと思われる。

【4.定住人口拡大事業 婚活イベント「Welcome 二本松 de 婚活」】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

毎年継続開催することで、イベントが定着している。今年度は1回の開催で、参加者25名と例年より少ない実績となったが、これも新型コロナウイルスの影響による人数制限のため、やむを得なかったと思われる。

Ⅲ. 地域経済の活性化に資する取組

【1.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること】

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

新型コロナウイルスの影響で、二本松市創業支援連絡会は書面開催となり、その他が中止となったことはやむを得なかったと思われる。

今後は、オンラインを活用した情報交換や研修の機会を増やしていくことを期待したい。

【2.経営指導員等の資質向上等に関すること】

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

Off-JT と OJT の両面による経営指導員の資質向上策が行われている。Off-JT に参加した職員の研修内容や支援事例の情報共有については、多忙の中でも報告日を事前に決めたうえで、情報共有を行うことが望ましい。職員全体の更なるレベルアップに期待したい。

【3.事業の評価及び見直しをするための取組みに関すること】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

報告書を作成することで客観的な評価及び検証が実施できている。所内でも、職員間での振り返りと改善点の検討を行うことで、より効果的な改善につながると思われる。

以上、令和2年度二本松商工会議所の経営発達支援計画に事業評価について、ご報告致します。

令和3年3月19日

相馬由寛 